アクセス



■ JR中央線・総武線　■ 京王井の頭線

吉祥寺駅

北口1、2番乗場より関東バス　※すべてのバスが停車します
「成蹊学園前」下車、バス停より徒歩8分

■ JR中央線・総武線

三鷹駅

北裏、武蔵関駅、田無橋場行
(北口乗場より関東バス)
「緑町住宅」下車、バス停より徒歩10分

■ 西武新宿線

西武柳沢駅

吉祥寺駅行(関東バス)
「成蹊学園前」下車、バス停より徒歩8分

武蔵関駅

三鷹駅行(関東バス)
「緑町住宅」下車、バス停より徒歩10分

南口下車、徒歩20分

■ 西武池袋線

保谷駅

吉祥寺駅行(西武バス)
「慈雲堂前」下車、バス停より徒歩10分

吉祥寺駅行(西武バス)
「武蔵野第四小学校」下車、バス停より徒歩10分

大泉学園駅

吉祥寺駅行(西武バス)
「武蔵野第四小学校」下車、バス停より徒歩10分

※バスは時間帯によって本数の少ない場合があります。お確かめの上ご利用ください。

アクセスについては
こちらをご覧ください

SEIKEI 成蹊中学・高等学校

https://www.seikei.ac.jp/jsh/

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-10-13

TEL:0422-37-3818　FAX:0422-37-3863　E-mail:chuko@jim.seikei.ac.jp

2024.04.19,000

SEIKEI

JUNIOR HIGH SCHOOL
SENIOR HIGH SCHOOL

SCHOOL GUIDE 2025



SEIKEI 成蹊中学・高等学校

成蹊は、人を創る



— 教育目標 —

本校は、「個性の尊重」「品性の陶冶（とうや）」「勤労の実践」の三つの建学の精神に基づき、下記の教育目標を掲げ、自ら課題を発見し、解決できる「0 to 1」の発想が持てる人材の育成をめざしています。

多様性を持って
グローバルに対応できる能力と個性の育成

自立精神と自律的行動力を持って
社会に貢献できる人材の育成

リベラルアーツによる知的好奇心と
物事の本質を見極める探究心の育成

成蹊での学びから「0 to 1（ゼロトゥワン）」の発想を持つ人材に



校長 **仙田 直人**

成蹊学園には、創立者中村春二先生の「知育偏重ではなく、人格、学問、心身にバランスの取れた人間教育を実践したい」という精神が今も流れています。この達成のため、1912年の創立以来、建学の精神である「個性の尊重」「品性の陶冶」「勤労の実践」を尊重してきました。そして、幅広い教養を持たせるリベラルアーツを重視し、生徒一人ひとりが「本物に触れる」体験の中から、自身の「琴線に触れる」学びに出会う機会を作ってきました。

その学びを深めるため、生徒の「なぜ？」を大切にし、その疑問を解決するための探究的な学習を多く取り入れています。「個性の尊重」は、偏差値では測れない発信力やコミュニケーション力といった非認知能力を育み、解答の無い社会であっても、新たなものを創造する「0 to 1」の発想を持つことに繋がります。

また、他者の個性も理解し尊重する「共感（エンパシー）力」も育てます。成蹊学園が「ユネスコスクール」に認定される中、サステナブルな取り組みを通して、品格と教養の両面を備えた人間性を培うことが「品性の陶冶」なのです。そして、「勤労の実践」として、学校で学んだことを実社会に結びつける教育を行い、思いやりを持って国際社会で貢献できる人材を育成しています。

中学・高校の6年間は、人生において「人を創る」大切な時期です。本校では、この時期に帰国生や留学生など多様な考え方を持つ友と出会い、グローバルな体験や幅広い学びを通して、心豊かな人間性を培っていきます。緑濃き武蔵野が残るキャンパスで、共に学びたい気持ちを持った生徒と出会うことを、心から楽しみにしています。



成蹊学園創立者 **中村 春二**

成蹊の教育理念 EDUCATIONAL POLICY

偏りのないものの見方を身につけ、
確固たる信念と人格を持った人間へ。
創立者 中村春二の情熱が息づく人格教育は、
永い時を経て今なお成蹊教育の核となっています。

成蹊学園の創立者 中村春二は、明治末期の画一的な教育や教育機会の不均等に疑問を持っていました。そこで「知育偏重ではなく、人格、学問、心身にバランスの取れた人間教育を実践したい」と、1912(明治45)年に成蹊実務学校を創立。「個性の尊重」「品性の陶冶」「勤労の実践」という建学の精神を柱とした成蹊教育は、その使命を見失っていた当時の教育への鋭い警鐘となりました。
そのような理念の中に込められた中村春二の情熱は、時代がどのように変遷しようとも決して変わらないものであり、今日まで着実な歩みを進めてきた本校に今も脈々と息づいています。

校名・校章の由来

桃李不言下自成蹊（とうりふげんかじせいけい）

桃李ものいはざれども、下おのづから蹊（こみち）を成す

「成蹊」という名は、この言葉に由来しています。桃や李(すもも)は何も言わないけれど、美しい花を咲かせ、おいしい果実を実らせます。すると、それにひかれて人が集まり、樹木の下には自然と蹊(こみち)ができる。桃や李は、人格のある人のたとえで、つまり、そういう徳のある人には、その徳を慕って人々が集まってくる、という意味です。

成蹊の文字を葉のついた桃の実の上に配した校章は、中村春二自らが考案したものです。時代とともに少しずつ形を変えてきましたが、「桃李不言下自成蹊」の精神を表したシンボルとして親しまれ続けています。



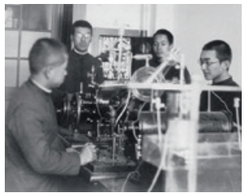
実務学校開校当初の授業風景



理化館での授業風景



新制中学校歴史の授業風景



旧制高等学校物理の授業風景

建学の精神

時代を超えて変わることなく受け継がれる精神

個性の尊重

自らの個性を伸ばすことはもちろん、皆が互いに思いやり、それぞれが持っている個性を認め合うこと。これは異なる文化や習慣を理解し、尊重することにも通じ、グローバル社会におけるコミュニケーションには欠かすことのできないものです。

品性の陶冶

多くの仲間と触れ合い、切磋琢磨しながら自らを高め、品格と教養をバランスよく備えた優れた人格の育成を意味しています。中村春二は「心を育てる教育」として、良いものを鑑賞すること、自然と親しむこと、科学を研究することなどを特に奨励しました。

勤労の実践

机上の学びには限りがあり、実際に体験し、本物に触れることが重要なことはいうまでもありません。人のためにはたらくことを厭わず、自らに置き換えて動くことができて初めて、誇りを持って社会の発展に貢献できる人になり得るのです。

凝念（ぎょうねん）

授業の前に集中力を高め気構えを養う、伝統の精神集中法

手を組み、目を閉じ、呼吸を整え、精神を集中する。中村春二が教育に取り入れた独自の精神集中法が「凝念」です。ここには、「精神を集中させ、それを持続する習慣を養うことは教育の徹底に不可欠である」という創立者の教育理念が継承されています。現在では中高ともに朝礼で行われており心を落ち着かせ、授業への集中力を高めます。



ユネスコスクール

成蹊学園は2019年11月、パリのユネスコ本部より、ユネスコスクールとして認定されました。
成蹊学園がユネスコスクールに認定されたのは、「個性の尊重」「品性の陶冶」「勤労の実践」という建学の精神に基づく教育実践がユネスコ憲章に通ずるものとして高く評価されたからです。
ユネスコスクールに認定されたことを機会に成蹊学園はその教育理念と実践を広く国内外に向けて発信していきます。



unesco
Member of the Associated Schools Network

沿 革

1906年（明治39年）	中村春二　自宅に学生塾を開塾 翌年、「成蹊園」と命名
1912年（明治45年）	成蹊実務学校創立 黙想による精神集中法「凝念」開始
1914年（大正3年）	成蹊中学校開校
1915年（大正4年）	成蹊小学校開校
1917年（大正6年）	成蹊女学校開校 成蹊実業専門学校開校
1924年（大正13年）	中村春二 死去 学園本館完成 池袋から吉祥寺に校地移転
1925年（大正14年）	旧制 成蹊高等学校(七年制)開校 気象観測装置を設置、気象観測開始
1926年（昭和元年）	高等学校教諭加藤藤吉の生徒指導により 気象観測法に準拠した正式観測開始 (1959年「成蹊気象天文観測所」設置)
1947年（昭和22年）	新制 成蹊中学校開校
1948年（昭和23年）	新制 成蹊高等学校開校
1949年（昭和24年）	成蹊大学開学 セントポールズ校(アメリカ)への留学開始
1964年（昭和39年）	小学校・中学校 海外帰国生教育を目的とする 「国際特別学級」開設
1970年（昭和45年）	カウラ高校(オーストラリア)との 交換留学を開始
2003年（平成15年）	カウラ高校短期留学を開始
2004年（平成16年）	学園「国際教育センター」開設
2006年（平成18年）	ケンブリッジ大学(イギリス)への 短期留学を開始
2007年（平成19年）	中学校 1クラスの少人数化実施
2012年（平成24年）	学園創立100周年
2014年（平成26年）	成蹊中学校創立100周年 カリフォルニア大学デービス校(アメリカ)への 短期留学を開始
2015年（平成27年）	チョート・ローズマリー・ホール校(アメリカ)への サマースクール派遣を開始
2016年（平成28年）	チョート・ローズマリー・ホール校(アメリカ)への 長期留学を開始 フィリップス・エクセター・アカデミー校(アメリカ)への サマースクール派遣を開始
2017年（平成29年）	ルンステッド高校(デンマーク)、 カルマーレ国際高校(スウェーデン)への 短期留学を開始
2018年（平成30年）	学園「サステナビリティ教育研究センター」開設
2019年（令和元年）	学園「ユネスコスクール」に認定
2023年（令和5年）	ターム留学(カナダ)を開始

Seikei Days

この毎日が、
未来の礎になる。





成蹊中高の教育はこちら

成蹊中高の教育

EDUCATION SYSTEM

体験を通した学習を重視し、
本物を見て、触れて、確かめることで、自ら考える力を養います。
発育や成長に合わせたカリキュラムと、生徒一人ひとりに寄り添う指導により
自らの才能を自覚し、伸ばしていけるようにサポートします。



中学校のカリキュラム

POINT-1

成蹊生としての
学習習慣、生活習慣を
身につけます。

スケジュール
管理帳
『日進月歩』



POINT-2

中1では、1クラス36名で
個性を認め合いながら
協調性を培います。



POINT-3

教科内容の細分化(地理・歴史・公民、
物理・化学・生物・地学)に対応した
専門教員と学習を進めます。





本物に触れる教育

動植物の観察、専門機材を使用した実験、林苑や前庭を使ったフィールドワーク等、本物に触れる教育で学習を深化させていきます。

第二外国語

高2・3の演習科目では、中国語、フランス語、ドイツ語、朝鮮・韓国語が選択できます。(希望者10名以上で成立)





成蹊の食材を使って

家庭科の授業では、春に敷地内の竹林で収穫した筍で「筍ご飯」を作ります。

帰国生特設英語クラス

中3ではジョージ・オーウェル著『1984』を題材に、ディスカッションを通じて社会の在り方や生き方について考え、学びます。



高校のカリキュラム

高校1年

共通カリキュラムを通じ、
自らの資質や関心を
見いだす力を身につけます。

共通カリキュラム
進級するにつれて
選択カリキュラムが増えていきます

英語　グレード別に2段階に分けた授業を行います。

数学　高校からの入学生と内部進学生でクラスを分けて授業を行います。

芸術　必修選択
(音楽、美術、工芸、書道)

高校2年

文系・理系の
いずれかを選択し、
進路を具体化します。

理系コース

文系コース

選択演習(数学、外国語、芸術など)

英語　数学　グレード別に3段階に分けた授業を行い、それぞれのレベルアップを図ります。

高校3年

文系・理系の進路に合わせた
19のコースを設定。全授業の
約半分をコースごとに行います。

理系10コース

文系9コース

選択演習(数学、外国語、芸術など)

成蹊家庭科シンポジウム

クラスで選抜された代表によるテーマ学習の発表大会を行っています。優秀なグループは外部の大会にも挑戦します。





Startup CAMP

長崎県五島市にて課題を発見し、解決策を考えるスタートアップ(0 to 1)に取り組みます。最後はコンテストに挑戦します。

学習旅行の企画

いかにワクワクさせる学習旅行計画を立てるか、チームで話し合いながらプランを提案します。





「桃李」道徳の授業

「10年後、自分が社会にどう貢献できるか」をテーマに調査やインタビューを行い、パワーポイント等を使用して作成したポスターを発表します。

企業との協働学習

マーケティングを学び、商品開発から販売までが体験できる探究プログラムです。







国語
JAPANESE LANGUAGE

深く正確な読解力を身につけ
理解し、考え、表現する力を養う

国語・現代文

考える力を育む
多くの文章を読み、他者の意見を聞くことで新しい視点を獲得し、自身の考えを深めていくことを大切にしています。考えを表現する経験を積み重ねることで、思考の柱を形成します。

古典

慣れ親しみ、深い理解へ
中学では国語科教員が編集したオリジナルテキストを用いて代表的古典作品に慣れ親しみ、高校ではより詳細な読解を行います。作品の面白さに触れることで興味を持って読み解くことをめざします。

作文・文法

自分の言葉で表現する
中学では独立した授業として取り組み、高校でも現代文の授業を通して作品を解釈し、文章にすることで力を伸ばします。正しい文法を身につけ、他者に理解してもらえる文章力を養います。





数学
MATHEMATICS

数学の本質を理解し、
直感力と論理的思考力を身につける

科目紹介はこちら

中学

基礎学力の確実な定着をめざす
中高6年間の数学を俯瞰し、数学の本質を理解して楽しむことに留意して指導しています。そうすることで早期の段階で高校数学を理解する論理的な思考力が養われます。高校数学の一部を先取りしたり、超難問に挑戦したりするなど余裕を持った勉強ができます。

高校

普遍的に応用できる学力の定着をめざす
数学はそれ自体純粋に魅力的な教科ですが、自然科学や経済学などに応用できる教科でもあります。試行錯誤しながら「真理」に迫る経験は、大学入試を突破する力をつけることは勿論、将来いろいろな仕事をする上でも役に立つ力が身につきます。

社会
SOCIAL STUDIES

授業で得た知識を体系的に整理し
今ある社会の仕組みを考察する

地理

現実の社会と社会科学習を結びつける
地域社会と国際社会の現状を学びながら、知識を得るだけではなく、社会を仕組みとして理解する思考を身につけます。日本の社会、国際社会の中で自分の存在を意識することをめざします。

歴史

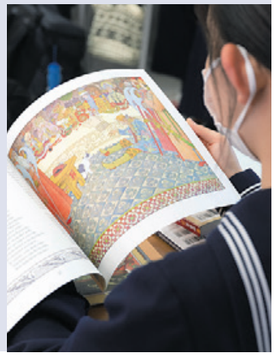
事象の原因やつながりを的確に捉える
現在との対話につながるように歴史を学びます。過去のできごとの因果関係をつかみながら、今ある「私たちの社会」がどのように形作られてきたのかを考察し、同時に現在を見る目を養います。

公民

社会と人間を学び生きる力を身につける
平和で民主的な社会を主体的に形成していく上で必要な知識を身につけることに加えて、現代の具体的な課題についても原理的・理念的に捉え直す論理的思考力を身につけることをめざします。







理科
SCIENCE

本物に触れることで視野を広げ
幅広く自然科学の基礎を身につける

物理

実験を通して幅広く学ぶ
充実した機材を用いた多様な実験を通して、物理現象の捉え方や問題の考え方を体験的かつ体系的に学んでいきます。

化学

実験やモデルを通して抽象概念を理解する
基礎的な実験器具の扱い方から学習を始め、原子等ミクロな世界も模型を利用し、暗記に頼らず体系的な知識を獲得していきます。

生物

学園内の自然から学ぶ
緑豊かな校内の動植物に触れながら、実践的な授業を展開。遺伝実習を含め、多様な実験・観察を行い、自然科学の基礎を身につけます。

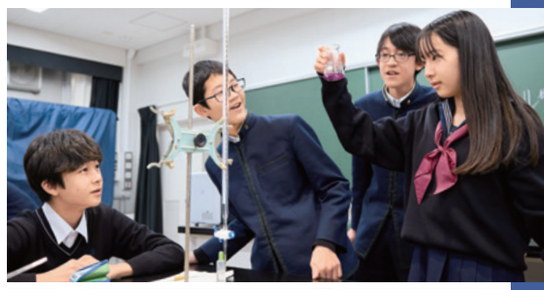
地学

好奇心に応える専門性の高さ
中学から専門の教員による授業を展開。実物に触れ、映像やパソコンを駆使して学習します。生徒自身による気象観測は長い歴史を誇ります。



ブラマ種 カルちゃん









教科ガイド
SUBJECT GUIDE

成蹊の偏りのない学習は深い教養と
多角的な視点から物事の本質を見極める力を養います。
自らの興味・関心を発見し、
さまざまな可能性を育てます。



成蹊でしか できない体験

2024年度　中学3年
榎本 晃さん

成蹊の授業の最大の魅力は全員が「ここでしかできない体験ができること」だと思います。例えば化学で様々な実験を実際にしたり、生物で校内の昆虫を捕まえてそれを観察したり、美術で蹊祭のポスターを作ったり。極めつけは学年ごと（中1～高2）に統一したテーマで行われる全員参加型の探究学習です。2年の時には「吉祥寺をchange!」というテーマのもと、3～ 5人1組で吉祥寺をChangeするための提案を考えスライドを作りました。そして代表として選ばれた11班は商工会議所の方や商店会の会長の前で発表しました。これら貴重な体験をさせてくれる成蹊の授業が大好きです。





英　語（外国語）
ENGLISH (FOREIGN LANGUAGES)

“言葉を使う体験”を重視し
将来に活かせる
語学力を身につける

中学

4つの基本技能をバランスよく習得

一貫して音声を大切にし、「聞く・話す・読む・書く」(4技能)の基礎をバランスよく身につけます。英語の発音と発表能力が向上します。外国人教師の授業が中1・2では週1回、中3では週2回あります。ことばの「やり取り」が得意になります。

高校

英語を使いながら身につけ、大学受験にも対応

普段の授業から、外国人教師や日本人教師と英語で「やり取り」することを意識して学習を進めています。高2以降は、帰国生向け英語、基礎英会話、第二外国語(全て選択科目)を履修することもできます。変化する大学入試の新傾向に対応した力をつけます。





科目紹介はこちら

情　報
INFORMATICS

情報の科学的な理解や活用法を
体系的に学び課題や目的に応じて
実践するための素地を身につける

高校

時代の変化にとらわれない、普遍的な“情報”の知識を習得

コンピュータの仕組みやプログラム、情報分野にかかわる法規、著作権等を学習していきます。これらのことを通じて、情報活用を実践するための素地、生涯にわたって残る教養を育みます。

保健体育
HEALTH AND PHYSICAL EDUCATION

体力・技術の向上を目指し
スポーツに親しむ
資質・能力・リーダーシップを育てる

中学

基本的な運動能力を体得します

安全に留意しながらスポーツに取り組む態度を育てることを大切にし、「跳ぶ力」「走る力」「投げる力」といった基本的な運動能力を高め、健康の保持増進のための実践力の育成と体力向上を図ります。

高校

運動に主体的に取り組む姿勢を育てます

中学で体得した総合運動能力を発展させ、運動の合理的かつ計画的な実践を通して、運動の本質的な楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てます。





芸　術
ART

楽しく芸術に親しみながら
表現する力、創造する力を育成する

書道

人間性を高めるために「書く」

書道を「書写」ではなく自己表現のひとつとしてとらえ、中国の古典に触れ、さまざまな表現技術を駆使して、「文字」を造形する楽しさを体験します。

美術

絵画、版画、彫塑、デザインなどで表現力を体得

さまざまな制作を通して、創造力を高めます。高校の美術では油彩のほか、日本画、彫塑、版画などにより表現の幅がぐんと広がります。

技術・工芸デザイン

形の把握、技術の習得、工夫する喜び

多彩な手道具や機械類が揃った造形館で自ら製図・設計をし、基本から制作までを学びます。

音楽

演奏から学ぶ、音楽との良い付き合い方

中学ではギターの演奏、高校では珍しいオーケストラ楽器の実習を通じて、身のまわりの音楽との関わりかたを体感しながら学んでいきます。









家　庭
HOME ECONOMICS

多くの体験を積み重ね
生活を豊かに創造する力を養う

中学

本物に触れる、生きた体験学習

頭付きの魚をさばいたり、自分の体を採寸して型紙から服を製作するなどの、本物に触れる生きた体験学習により、豊かな生活を自分の手で作り出せる実践力を育みます。

高校

生活者として自立し、発信する力を養う

自分の将来に大きく関わるテーマについてICT機器を利用しながら探究的な学習も行います。考えたことは班で発表したりレポートにまとめたりするなど、論理的に表現する力を養います。

STUDENT'S VOICE



**個性豊かな授業が
自分の興味を
見つける
きっかけになる**

2024年度　高校3年
田中 衣音さん

成蹊の大きな魅力は個性豊かな授業を受けられるところです。私は、成蹊の授業をきっかけに英語に興味を持つようになりました。座学だけでなく実践的な授業も多くあるので知識としてだけでなく経験としても学びを得ることができます。また、先生方は教科書に載っていない深いところまで教えてくださるので自分が興味のあることが見つかりやすいと思います。
やりたい事や好きな事、将来の夢に向かって生き生きと努力している仲間たちに囲まれて、充実した学校生活を送っています。

TEACHER'S VOICE



**「なぜ」を
大切にして
自分の頭で
考える力を**

下田 桃子 教諭
（社会担当）

これから社会の一員として自立していくみなさんが、身近な問題に気づき、なぜその問題が起きているのかを広い視野でじっくりと考え、そして解決策を導き出せる、そんな力を身に着けてほしい。授業での学びを、その材料にしてほしい。そんな風に考えながら日々授業をしています。社会科は暗記教科のイメージが根強いですが、どの科目でも「なぜ」を大切にし、学んだことを手掛かりに、自分の頭で考える経験を大切にしています。また、教員がみな自分の専門を持っていることも特徴です。一つのテーマを深く掘り下げて研究した経験は、授業内容にも生かされているので、みなさんの知的好奇心を必ず刺激してくれるだろうと思います。ぜひ一緒に学んでいきましょう！



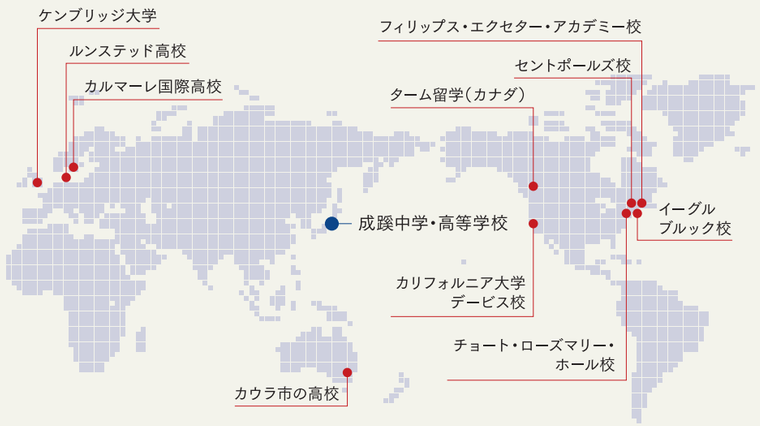
国際理解教育 GLOBAL PROGRAM



広く世界へ目を向け、異文化への理解を深め、
多様性のあふれる国際社会で活躍できる人材を育てます。

成蹊では、日ごろから多くの科目を通して国際感覚を養い、真の国際人の育成をめざしています。ネイティブスピーカーの教員による語学の授業から異文化への理解を深めるだけでなく、政治経済、日本史、世界史などの科目を通じて、国際社会を理解するために必要な近現代史の教育にも力を注いでいます。また、毎年多くの留学生を受け入れています。受け入れる留学生の存在は、海外に出たことのない生徒も異文化に触れることができ、有形無形の異文化体験となっています。

さらに、留学制度や国際理解プログラムが充実しているのも本校の大きな特徴です。成蹊では1935(昭和10)年に全国に先がけ、帰国生を受け入れるための国際学級を設立しました。現在でも、国際学級・帰国生入試などでさまざまな文化を身につけて帰国する生徒を受け入れ、在校生にも良い刺激を与えています。



多彩な留学プログラム

本校では、個性と教養を備え、協調性を持ちながら自己開拓できる人材を育成するため、早い時期から世界に目を向けた教育を実施してきました。成蹊ならではの留学制度の充実もそのひとつです。アメリカのセントポールズ校とは1949年から、オーストラリアのカウラ市の高校とは1970年から交流を開始。奨学金付きのプログラムなど、成蹊独自のプログラムが充実しています。

※最新のプログラムについては、
本校ウェブサイトをご確認ください。



アメリカ United States of America



セントポールズ校

卒業生の目覚ましい活躍

アメリカ屈指の全寮制私立高校、テン・スクールズのひとつ。卒業生はハーバード大学、イエール大学などの名門大学に進学し、世界的に活躍しています。

アメリカ United States of America



チョート・ローズマリー・ホール校

ハイレベルなサマースクール

アメリカのテン・スクールズのひとつ。サマースクールへの派遣と、長期留学生の派遣を行っています。

アメリカ United States of America



カリフォルニア大学 デービス校

英語プレゼンテーション力もアップ

「英語とキャリア教育」を中心に学び、英語でのプレゼンテーション力が鍛えられます。2週間の短期留学を行っています。

アメリカ United States of America



フィリップス・エクセター・アカデミー校

2016年から相互交流

アメリカのテン・スクールズのひとつ。日本語を学ぶ生徒を受け入れ、本校からも同校のサマープログラムに奨学生を送っています。

オーストラリア Australia



カウラ市の高校

ホームステイプログラムも充実

オーストラリアカウラ市との歴史ある協定留学制度。長期・短期の留学生はホームステイをして、オーストラリアの生活を肌で感じます。

イギリス United Kingdom



ケンブリッジ大学

成蹊高校のための独自のプログラム

ケンブリッジ大学のペンブルックカレッジが提供するサマープログラム。世界屈指の名門校で、英語やイギリスの社会、文化を学びます。

デンマーク／スウェーデン Denmark Sweden



ルンステッド高校（デンマーク）
カルマーレ国際高校（スウェーデン）

北欧の高校生と机を並べて学習

両校とも日本語コースのある私立学校で、成蹊独自の交流校です。ホストファミリープログラムでの受け入れと、夏期派遣を行っています。

カナダ Canada



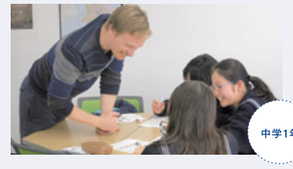
ターム留学プログラム

バンクーバー近郊の語学学校と現地校へ

1月～3月の9週間、ホームステイをして通います。語学だけでなく、異なる文化や価値観を持つ人々と交流を図ることで、精神的にも成長することができます。

国際理解教育はこちら

[国内における国際教育プログラム]



中学1年

イングリッシュ・シャワープログラム

中1の希望者を対象とした、2日間にわたり英語漬けの生活を体験するプログラムです。日本とイギリスの学校、文化や表現の違いなどを学びます。



中学3年
高校
1年・2年

グローバルスタディーズプログラム

外国人ファシリテーターのもと、アメリカの大学生・大学院生を含む5～6名のグループに分かれ、英語でディスカッションやプレゼンテーションをします。

プレグローバルスタディーズプログラム

中2の希望者を対象とした、グローバルスタディーズプログラムの前段階のプログラムです。

中学2年

[成蹊が紹介するサマープログラム]



中学
1～3年

イーグルブルック校(アメリカ)

中学生向けのグローバル・リーダーシッププログラム

アメリカのテン・スクールズに多くの卒業生を輩出する中学校でのサマースクールです。中学1～3年の生徒が参加可能です。

[留学生の受け入れ]



高校のクラスに所属し、クラスの一員として授業や行事に参加し、クラブ活動にも加わります。

[財団などが主催する留学プログラム]

ロータリー、AFS、YFUの留学プログラムは、本人の希望があり学校が認めれば、留学終了後、留年せずに進級ができます。



進路・進学

ACADEMIC & CAREER COUNSELING

才能、個性を大きく育て、進路を主体的に選択できるよう
さまざまな情報を発信しながら、目標の設定を支援、指導しています。

「将来、こんな仕事がしてみたい、研究がしてみたい」というきっかけづくりになるためにも、成蹊では「本物に触れる授業」を通じて幅広い教養を身につけ、各自の知的好奇心や科学的探究心を刺激していくことを大切にしています。成蹊大学教員による講演会や模擬授業、理工学部の研究室見学会とともに、医歯薬・芸術分野を含む多方面で活躍する卒業生の協力により、進路・進学についての講演会や相談会、企業見学など、生徒自身の主体性を醸成させ、継続する力となる講座を展開しています。

成蹊大学との連携（高大連携）

ワンキャンパスという環境を活かし、研究室見学会や講演会を実施。高校3年では大学の正規の授業を受講でき、成蹊大学進学後には単位が認定される制度もあります。



上級TOEFL®講座、海外大学準備講座、アカデミックスキル講座

海外での授業の受講や進学をめざす生徒向けに、上級TOEFL®、海外大学準備講座、アカデミックスキル講座を実施しています。アメリカ人のアカデミック・アドバイザーが担当し、指導しています。



探究学習

協力企業との共同ワークで主体的な学びや表現する力、協働する力を高めるプログラムです。希望者を募り、商品デザインなどの課題や、アントレプレナーシップの一環であるスタートアッププログラムに取り組みます。



成蹊大学ゼミ体験（中大連携：中3）

各分野の最先端の学問に触れる大学の学びを中学生のうちから体験することで、自らの将来や進路を考える機会としています。



論理コミュニケーション講座

コミュニケーションも論述力も、論理的思考に支えられています。高1では論理的思考を進めるためのルールを学び、高2では自身のキャリアをテーマにして“探究”しながら、それぞれ実際に文章を書いていきます。



桃李プレゼン大会

桃李（道徳）では各学年のテーマに沿って、グループまたは個人で探究活動を行い、答えのない問いについて考えます。



自習室

高校生が自由に使える自習室。このほかに進路相談室、図書室、職員室などにも自習スペースがあります。

成蹊の進路・進学についてはこちら

進学について

成蹊大学への内部推薦制度

例年、約30％の生徒が成蹊大学への内部推薦を希望し進学しています。内部進学のためには、3年間の成績と出席状況が一定の条件を満たす必要があります。高校生活にきちんと取り組んでいれば条件をクリアすることは難しくありません。また、成績上位者には、内部推薦の資格を持ちながら外部大学の受験が可能な内推併願制度もあります。



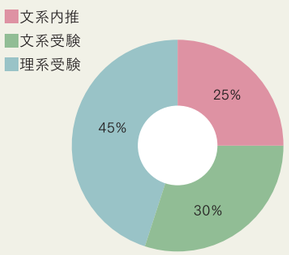
成蹊大学

外部大学への進学

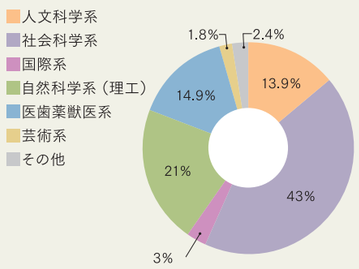
近年、約70％の生徒が成蹊大学以外の大学への進学をめざしています。成蹊高校での学習内容は、大学受験にも十分対応しています。本校では一人ひとりの志望を尊重しながら進路相談を行い、大学・学部の選択や受験に向けての対応をしています。また、指定校推薦を含む学校選抜型入試や総合型選抜などによる他大学進学の道もあります。

2024年度 指定校推薦 依頼実績	慶應義塾大学／早稲田大学／上智大学／立教大学／東京理科大学／中央大学／国際基督教大学／北里大学（医）／獨協医科大学 など

2022年度 高3生の文理別割合



2023年度入試 志望系統別



2024年度入学者選抜 大学合格実績

2024年3月27日付

国公立

東京大学	2
京都大学	1
東北大学	1
北海道大学	1
一橋大学	1
筑波大	1
東京農工大学	1
横浜国立大学	2
富山大学（医）	1
東京藝術大学	2
横浜市立大学	1
国際教養大学	1
合計	15名

私　立

上智大学	25
早稲田大学	25
明治大学	27
中央大学	27
立教大学	26
青山学院大学	23
慶應義塾大学	17
東京理科大学	22
法政大学	19
成蹊大学（内部推薦併願含む）	95
ほか	

医学部医学系

北里大学	1
杏林大学	4
東邦大学	2
東京医科大学	1
東京慈恵会医科大学	1
獨協医科大学	1
ほか	
合計	17名

歯/薬/医療/獣医系

東京薬科大学	3
北里大学（薬/獣医/看護）	5
日本獣医生命大学	2
麻布大学	2
日本歯科大学	2
星薬科大学	2
筑波大学（医療）	1
ほか	
合計	43名

国際教養系

国際基督教大学	8
上智大学（国際教養）	1
国際教養大	1
立命館アジア太平洋大学	3
法政大学（グローバル）	1
ほか	
合計	16名

成蹊での学びと経験が「今」につながっている

多くの仲間と関わり
互いの個性を認め合いながら
自ら考え行動する。
成蹊での学びと経験が
多様な将来像へつながっています。



森川 麗 さん
小〜高 2004年卒

東京医科大学医学部卒
慶應義塾大学大学院
医学研究科博士課程修了
慶應義塾大学病院勤務
消化器内科医

知性と個性を育む学び

受験勉強だけではない、これからの人生に役立つ学びがある。

成蹊は生徒の自主性を重んじ、自由に学ぶことができるのが魅力の1つです。蹊祭では、有志の仲間と和太鼓の公演のためにひっそりと練習をしていたのは良い思い出です。受験用の小論文が苦手だった私を先生が特訓してくださいました。先生と生徒の距離が近く、質問しやすい環境のため、学校で丁寧に指導していただけたことが、一番力がついたと今でも感謝しています。幅広い教育を受けるため科目が多く当時は大変でしたが、現在は、専門性の高い職業であるが故、広い視野が求められ、視野が狭くなりがちな点を補ってくれていると感じています。

ワンキャンパスならではの環境

自分の大学生像がイメージしやすいワンキャンパスの良さ。

成蹊の先生方は生徒のやりたいことに対し「指導」ではなく、「選択肢を与えてくれる」というような立ち位置で生徒がチャレンジしたいことや取り組みを見守ってくださいました。このような環境にいたことで、社会に出てからも恐れることなく自ら考えて行動する力を得られ、主体的に会社組織の一員として貢献できていると思います。高校3年の時に、大学では統計学を学びたいと思い、成蹊大学理工学部の統計学を扱う研究室の教授に話を聞きに行き「ここで学びたい」と進学を決意。日常的に大学生の姿を見ることで将来のことを自分で考えるきっかけになり、自分のやりたいことを考えて進路を決められました。



小野塚 健 さん
高〜大学 2014年卒

成蹊大学理工学部卒
東京工業大学社会理工学研究科修了
三菱地所株式会社勤務



水野 伶佳 さん
小〜高 2009年卒

早稲田大学国際教養学部卒
グーグル合同会社勤務
ジュエリーブランドの立ち上げ・
海外基礎化粧品代理販売

仲間との絆を深めた部活動

仲間のために、誰かのために、自ら考えて行動する大切さ。

高校から始めたバレーボール部では選手としての活躍が難しかった私は、試合では特にチームのために何ができるかを考え、行動しました。チームの応援や雰囲気づくり、For the Teamという精神はその後の人生にとても影響しました。現在の仕事でも、この精神や行動を大切にしており、相手が求めていることに対して的確な提案や実施に向けたサポートができるよう心掛けています。また、副業が認められている環境の中で、ジュエリーブランドを立ち上げたり、基礎化粧品の販売を手掛けたり、それらの仕事に共通しているのは、人を応援し、誰かのために行動するFor the Teamの精神が息づいていることです。

強い精神力を養う伝統

社会に出て気づくのは、成蹊生の精神力の強さ。

個性を重んじる教育が、個性豊かな仲間とめぐり合わせてくれました。仲間と共に大きな目標を掲げ、それを目指し努力することは何物にも代え難い尊さがあり、これを超える喜びはありません。中高6年間所属していた硬式テニス部で得た経験が、何事にも挑戦する気持ちの原動力になっています。成蹊生には毎朝行う凝念や、体育の授業の長距離走を通じて養われる共通の精神力の強さを感じています。弁護士という職業柄か特にそう感じます。成蹊で学んだことが盤石な人生の基礎を築き、生涯大切にできる仲間と出会えると思います。



宮本 武明 さん
中〜高 2007年卒

慶應義塾大学法学部卒
慶應義塾大学法科大学院修了
弁護士
株式会社THE LEGAL 代表

さまざまな挑戦が可能な教育

幅広い教養教育。さらに留学と大学受験が両立できる。

高2の時に1年間オーストラリア留学を経験しました。帰国後は先生方が個別の質問に対応してくださる等のサポートで受験勉強に打ち込むことができ、東京大学文科二類に現役で合格しました。教科の枠に囚われない多様な考え方や体験、ディスカッションをする機会がたくさんあったことで、自らの興味を追求できました。現在の仕事では複雑な契約書を読解する論理性や、事業採算性を吟味する数理的素養が必要とされますが、そうした幅広い技能を獲得する土台となる知識は、文理を問わずさまざまな分野を学習する成蹊の教養教育によって培うことができたと思います。



黒木 壮太 さん
中〜高 2017年卒

東京大学経済学部卒
株式会社国際協力銀行
（JBIC）勤務



宮崎 愛子 さん
中〜高 2012年卒

慶應義塾大学大学院
法学研究科政治学専攻・
サラゴサ大学大学院（Spain）・
グラナダ大学大学院（Spain）修了
外務省 外交官
（在キューバ日本大使館勤務）

グローバルな体験あふれる留学

自分の心に従った決断を尊重し、見守ってくれる校風。

入学当初より交換留学をしたいと思っており、AFSのプログラムを通じてデンマークへ1年間の交換留学をしました。言語も文化も全く知らない環境に飛び込み、現地校に通ったことは、自分の世界を広げ、その後の進路や今の仕事にも繋がる経験となりました。実はこの留学、学内選考の結果、留学を諦めかけていたところ、先生の助言もあって見つけた留学先でした。成蹊には、生徒の可能性を摘まず、背中を押し、最後はそれぞれの決断を見守ってくれる空気があります。自分で考える力を身につけ、自由に生きていく姿を在学中も卒業後も見守ってくれる成蹊で過ごした日々は、かけがえのない財産です。



近澤 良 さん
小〜大学 2008年卒

成蹊大学工学部※卒
（※2005年に理工学部へ改組）
Autify, Inc.勤務
CEO／共同創業者

自由な校風の中で育む自立精神と自律的行動力

目標に向かって進み続ければ必ず到達できる。諦めない精神力を育んだ多くの機会。

成蹊は、夏の学校、マラソン大会などの行事やクラブ活動など、諦めない精神力を育む機会が多く、それが大きな魅力です。また、自由な校風の中でもそれぞれが勉学に励むことが前提にあり、切磋琢磨できる環境が非常に良かったです。
私は、大学卒業後、グローバル市場で戦うビジネスを作り上げることを目標とし、3カ国でエンジニアとして腕を磨いた後、アメリカで会社を創業しました。これまで全てが順風満帆ということはありませんが、成蹊で積み重ねた一つひとつの出来事が、アントレプレナーシップとしての今に繋がっていると感じています。



入学式

式典が行われる本館は成蹊学園のシンボル。



ピーチくん
成蹊の名の由来「桃李不言下自成蹊」のことわざにちなんだマスコットキャラクター

年間行事 SCHOOL EVENTS

力を合わせて行事を作り上げ、体験を通じて本質を捉える目を養う。
周囲との関係を築きながら、心と体を大きく成長させます。



体育祭／体育大会

学年を超えてクラス対抗で競い合い、大いに楽しみます。企画や運営は生徒たちが主体となって行い、自立と自律の精神を学んでいきます。

クラスー丸となって盛り上がります！



ピーチちゃん



年間行事はこちら







こみち 蹊祭（文化祭）

毎年秋に開催している文化祭。自主性を育むために、生徒自身が企画して運営します。準備段階から本番まで協力し合い、手づくりのイベントを成功させることで、大きな達成感を得ています。

Event Calendar

＊は希望者のみ
★は中学・高校合同開催

中学

- 4 APRIL
  - ●入学式
  - ●始業式
  - ●オリエンテーション
  - ●防災訓練
  - ●新入生歓迎会
- 5 MAY
  - ●体育祭
  - ●遠足
  - ●中間テスト
- 6 JUNE
  - ●授業見学会
  - ★文化部発表会（6月展）
- 7 JULY
  - ●期末テスト
  - ●夏の学校（1・2年）
  - ●終業式
  - ★グローバルスタディーズプログラム＊
- 8 AUGUST
  - ★カウラ市の高校短期留学（3年）＊
- 9 SEPTEMBER
  - ●始業式
  - ★蹊祭（文化祭）
- 10 OCTOBER
  - ●中間テスト
  - ●修学旅行
  - ●防災訓練
- 11 NOVEMBER
  - ●生徒会役員選挙
- 12 DECEMBER
  - ●期末テスト
  - ●終業式
- 1 JANUARY
  - ●始業式
  - ★文化部発表会（1月展）
- 2 FEBRUARY
  - ●イングリッシュ・シャワー（1年）＊
  - ●プレグローバルスタディーズプログラム（2年）＊
  - ★留学体験報告会＊
- 3 MARCH
  - ●学年末テスト
  - ●合唱祭
  - ●卒業生歓送会
  - ●終業式
  - ●卒業式
  - ★UCD短期留学（3年）＊

高校

- 4 APRIL
  - ●入学式
  - ●始業式
  - ●オリエンテーション
  - ●防災訓練
  - ●新入生歓迎会
- 5 MAY
  - ●体育大会
  - ●生徒総会
  - ●中間テスト
  - ●遠足
- 6 JUNE
  - ★文化部発表会（6月展）
- 7 JULY
  - ●期末テスト
  - ●終業式
  - ●学習旅行（2年）＊
  - ●ケンブリッジ大学短期留学＊
  - ★グローバルスタディーズプログラム＊
- 8 AUGUST
  - ●学習旅行（2年）＊
  - ★カウラ市の高校短期留学＊
  - ●北欧短期留学＊
- 9 SEPTEMBER
  - ●始業式
  - ●体育大会
  - ★蹊祭（文化祭）
- 10 OCTOBER
  - ●中間テスト
  - ●防災訓練
- 11 NOVEMBER
  - ●名人会
- 12 DECEMBER
  - ●期末テスト
  - ●終業式
  - ●学習旅行（2年）＊
- 1 JANUARY
  - ●始業式
  - ★文化部発表会（1月展）
  - ●ターム留学＊
- 2 FEBRUARY
  - ●マラソン大会（1・2年）
  - ★留学体験報告会＊
- 3 MARCH
  - ●学年末テスト
  - ●卒業式
  - ●終業式
  - ★UCD短期留学＊



修学旅行

成蹊が重視している体験学習のひとつです。京都・奈良に行き、いろいろな教科で事前に学習した内容を実際に体験。本物に触れることで、知的好奇心を高めます。





夏の学校

本物に触れながら「自分で考える力」を身につけていく体験学習の中でも、特に大自然に親しむことができる夏の学校。自然観察や仲間づくりを行います。









マラソン大会

国営昭和記念公園のコースを走ります。持久走に取り組んできた成果を発揮して、それぞれのベストを尽くします。

体験を通して成長するよ。



ピーチどん

学習旅行

高校で行う学習旅行は、一般的な修学旅行とは違います。生徒と教員が一緒に企画し、少人数・希望者参加の形で実施します。夏休みや冬休みに、海外も含めて合計8つほどのコースを設定。貴重な体験を通して誰もが大きく成長していきます。



卒業式


剣道部 中 高


硬式テニス部 中 高


サイクリング部 高


サッカー部 中 高


山岳部 中 高


柔道部 中 高


水泳部 中 高


スキー部 高


バスケットボール部 中 高


卓球部 中 高


ソフトテニス部 中 高

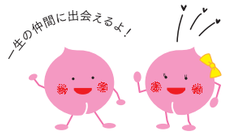

バドミントン部 高


バレーボール部 中女 高


野球部 中 高


ラグビー部 中 高


陸上競技部 中 高



CLUB ACTIVITIES

クラブ活動

放課後の時間を有意義に使い、
心身を鍛錬するクラブ活動。
目標をもって夢中になれる場所が
きっとみつかります。

※一部のクラブを除いて活動は中学・高校別々に行います。


イラスト漫画部 中



英語部 中 高


演劇部 中 高


科学技術部 中


家庭部 中


コーラス部 中 高


自然科学部 中


社会探検部 中


写真部 中 高


書道部 中 高

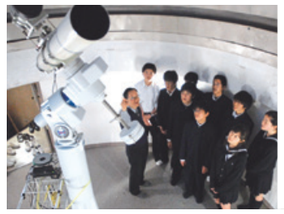

吹奏楽部 中 高


ストリングス部 中 高


生物部 高


ダンス部 中 高


鉄道文化研究部 高


天文気象部 高


美術部 中 高



文芸部 高


料理部 高

目標に向かって
がんばるぞ！



運動部 文化部
中 中学校 高 高等学校

クラブ活動・生徒会
はこちら

［生徒会の活動］

生徒の自発的な活動の中心となっているのが生徒会です。生徒が学校に愛着を持って取り組み、協力する活動の場として大きな役割を担っています。東北の復興支援など、社会貢献にも積極的に取り組んでいます。

中学生徒会




蹊祭（文化祭）で行った
「防災意識」を広めるための
プレゼンクイズ

目安箱に寄せられた
生徒の声に、
楽しい一言を添えて可視化

高校生徒会



2011年から続く
東北復興支援活動


FM西東京で生徒会が
スクールダイバーシティの
活動をアピール



8:10 登校 8:15 朝礼


吉祥寺駅からバスに乗って5分で学園正門に。そこからけやき並木を数分歩いて到着。8:15から朝礼。「凝念」で心を落ち着かせ、集中力を高めます。

8:30 午前の授業


月曜日なら1、2時限は教室。3時限目の地学は理科館に移動。成蹊の理科は、実物や現象を実際に見たり（観察）、体験（実験）したりすることを重視しており、設備の整った理科館で授業が行われます。午前は4時限目まであります。

12:20 昼休み


教室でお弁当を開いたり、中高中央館内に約300席ある高校食堂で昼食。食後の自由時間は仲間と楽しく過ごします。



13:10 午後の授業


5、6時限が午後の授業。月曜は英語と保健体育ですが、水曜日の芸術の授業では、美術・工芸は造形館、書道・音楽は特別教室棟で行います。

15:00 放課後


6時限目終了後に再び教室に集まり、終礼が済んでから部活動となります。1年生の部活参加率は8割以上。学年を超えた交流が盛ん。下校は18:30（4〜10月）、17:30（11〜3月）です。





ケヤキ並木

五日市街道から中高門まで続く並木道で、四季折々の表情が楽しめます。このケヤキ並木は現在、武蔵野市の天然記念物に指定されているほか、「新東京百景」や「残したい"日本の音風景100選"」にも選ばれています。

施設紹介 CAMPUS FACILITIES

武蔵野の豊かな緑に囲まれた
充実した施設を備える学習環境。
広くゆとりのある学び舎で
仲間たちとの絆を深めます。

1 中学ホームルーム棟
2 高校ホームルーム棟
3 中高中央館
4 理科館
5 造形館
6 特別教室棟
7 中高グラウンド
8 中高テニスコート
9 大学テニスコート
10 中高第1体育館
11 中高第2体育館
12 野球場
13 けやきグラウンド（400m競技場・ラグビー場）
14 サッカー場
15 ハンドボールコート
16 北プール
17 気象観測所

※ 9 12 13 14 15 16 17 は学園共用施設です。





1 中学ホームルーム棟

床など建物の多くに木材を使用した温かみのある校舎です。

キャンパスの魅力を僕が紹介するよ！

学校紹介動画はこちら

キャンパスマップはこちら



■フリースペース
1学年全員が集まれる広さで同じ学年の生徒同士でお互いの顔が見える、コミュニケーションを図るスペースです。



■ホームルーム教室
各教室に大型ディスプレイやプロジェクターを設置。



■中学生徒ホール
昼休みに食事をしたり、放課後には仲間と勉強をしたり、生徒が自由に過ごせるスペースです。



■分割教室
学習経験別に分かれて行う英語の授業など教育の特色でもある多様な授業形態に対応しています。



■フリースペース
ガラスが多く使用され、明るく開放感にあふれたコミュニケーションスペースです。



■ホームルーム教室
各教室に大型ディスプレイやプロジェクターを設置。



■進路指導室
大学入試や模擬テストなどに関する資料が取りそろえられており、進路指導のためのスペースも充実しています。



■合同教室
2クラス合同の授業などで使用される教室です。



2 高校ホームルーム棟

進路指導や
個人面談のためのスペースも充実。
機能性あふれる校舎です。

13 けやきグラウンド



人工芝が敷き詰められたグラウンドです。ラグビー場を兼ねた400mトラックは、授業やクラブ活動、試合などに使用されています。

8 中高テニスコート



中高専用のテニスコートは、全部で5面。人工芝なので天候に左右されることなく、ボールを追うことができます。

12 野球場



両翼90m、中堅115mの球場で、外野には鮮やかな天然芝が植えられています。中高・大学の野球部が使用しています。

3 中高中央館

最新の教育機器を導入し、
充実した教育環境を誇っており、
図書室・高校食堂も完備しています。



■高校食堂

約300席の食堂です。メニューも多彩で、栄養バランスにも配慮しています。



■探究

勾玉型の机16台を自由に動かし、グループ活動ができます。プロジェクター6台を同時に表示可能です。



■高校図書室

中高合わせて16万冊の蔵書を誇る図書室。自習のスペースとしても利用されており、留学生向けの図書や充実した映像資料が特色です。



■中学図書室

2割を占める帰国生向けの英文書籍や、『手塚治虫全集』をはじめとするコミックの充実が特色です。

4 理科館

成蹊の伝統である「実験実習重視」を象徴する、理科教育のための施設。各科ごとの講義室や実験室を備え、屋上に天体ドームを設置しています。理科の授業は全てこの理科館で行われます。



■物理

実験室2室、講義室1室、準備室2室を備え、2名の実験助手の補助のもと豊富な実験実習を行っています。



■生物

豊富な実験観察器具および生物標本を備えており、また、校内の豊かな自然が直接授業に利用されています。



■化学

講義室のほか、本格的な薬品庫を備えており、実験・観察を中心とした授業を行っています。



■地学

旧制高校時代から収集されている地学標本には貴重なものが多くあります。

5 造形館

造形館では、生徒自ら意匠し、
つくり出すことをテーマに授業が行われます。
中学校の技術・美術、高校の美術・工芸デザインの授業に使われます。



■技術室

木工、製図など技術や工芸デザインの製作教室として使われています。



■美術室

油彩や日本画、各種版画制作など、美術のアトリエとして使われています。



PICK-UP! **天体ドーム**

理科館屋上の天体ドームには屈折望遠鏡が設置されており、野外観察会や皆既月食のオンライン中継などにも使われています。



PICK-UP! **剝製・標本**

1,000点を超える貴重な剝製・標本があり、授業で積極的に活用されています。

6 特別教室棟

1学年全員が収容可能な大教室をはじめ、
芸術・家庭科教育のための施設が充実しています。
放課後はクラブ活動でも活用されています。



■大教室

舞台と映写設備が付設した施設で、学年ごとのオリエンテーションや講演会、クラブ活動の発表会、日常の部活動などに利用されます。



■調理室

9台の調理台および試食用のテーブルが設置されています。調理に関する本も充実しています。



■音楽室

大型スクリーンを備えた大小2つの音楽室では、オペラ・オーケストラなどの映像作品も鑑賞できます。



■書道室

半切作品を書くことができる大きめの机に、端渓硯・書架・墨床が備えられています。

制服紹介はこちら

成蹊の制服

中学、高校ともに詰め襟、
セーラー服です。

セーラー服のスラックススタイルも
導入しています。

セーラー服のスカーフは、
中学はえんじ色、
高校は黒色となっています。
中学には指定のセーターもあります。



左胸に
校章の刺繍が
入っています。

中学セーター



中学、高校ともに
セーラー服の襟には
桃の刺繍があります。



中学 冬服



中学 夏服



高校 冬服



高校 夏服

[受験生と保護者のみなさまへ]



PARENT'S VOICE

充実した環境で出会い、育まれる絆は、生涯にわたる財産となっていきます。

父母と教師の会(PTA)　**川口 玲奈**さん

生徒たちは、先生方やさまざまな方々のサポートのもと、勉強や部活動、校内外の行事を通じて互いを認め合いながら尊重し、力を合わせることで日々伸びやかに学校生活を送っています。そして、その中で培われる人と人との絆、人格の育成こそが大きな魅力です。ここでめぐり会えた仲間と共に、どんなときでも協力し、助け合い、成長しながら毎日楽しく学校生活を送っていることを親としてとてもうれしく思います。



STUDENT'S VOICE

異文化への理解を深める充実した国際教育

2024年度　中学3年　**宮原 蒼空**さん

成蹊では、ネイティブスピーカーの教員による英語の授業、帰国生のための特設英語クラス等を通じて、質の高い英語教育を受けることができます。また多彩な留学制度や国際理解プログラムが充実し、異文化への理解を深め、国際感覚を養う環境が整っています。緑豊かで広大なキャンパスでは部活動も盛んで、大切な仲間と日々成長しながら、充実した中学生活を送っています。



STUDENT'S VOICE

勉強はもちろん、人としても大きく成長できる環境

2024年度　高校3年　**狩野 快斗**さん

成蹊は、あらゆる環境が充実している学校です。私はサッカー部と生徒広報委員会に所属し、活動を通じて、些細なことも気付く力を養い、人と関わり合うことの楽しさを実感しました。学校行事では、生徒が主体となり蹊祭や年に2度行われる体育大会など、学校全体で盛り上がれるような行事が多く開催されます。個性を尊重する自由な校風と充実した環境の中で、自分のやりたいことが存分にできることが成蹊の魅力です。